

耕野小農園新聞

平成 28 年 第 3 号

イノシシが・・・



子どもたちとタケノコほりを楽しみに学校の竹林へ様子を見に行ってみると、

食べて行きました。

本来出ているはずのタケノコが一本も見当たらず、穴だけがいたるところにボコボコと・・・。「ここ数年イノシシによるタケノコの食被害が増加している。」という話はたまに耳にしていたのですが、いよいよ耕野小の竹林にもやって来て、食べたい放題に食べているようです。今のところ、これといった対策を講じることができずにいますが、巡視の回数を増やすなどして、子どもたちと今年もタケノコほりができるように準備中です。

「ここ数年イノシシによるタケノコの食被害が増加している。」という話はたまに耳にしていたのですが、いよいよ耕野小の竹林にもやって来て、食べたい放題に食べているようです。今のところ、これといった対策を講じることができずにいますが、巡視の回数を増やすなどして、子どもたちと今年もタケノコほりができるように準備中です。

さらに今度は・・・

子どもたちが下校した薄暗がりの校庭に、タヌキの親子が現れました。3頭で校庭隅のU字溝から顔を出しては引っ込めて、を何回か繰り返した後、校庭を縦横無尽に走り回って遊んでいきました。タヌキの親子はこの日だけの出没でしたが、たぶん学校近くのどこかに巣を作って住み着いているものと思われます。「耕野は本当に自然いっぱいでのどかだなあ。」とつくづく感じる光景でした。

次号こそは耕野小恒例のイベントの様子をお伝えできればと思います。

次号をお楽しみにお待ちください。



タヌキの親子でした。